

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ランドスケープ（Landscape）		
ナンバリングコード	L30410	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 応用レベル 建築計画
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	コース必修:環境地域(まち)コース、環境地域(社会)コース 選択:建築設計コース、建築工学コース、住居・インテリアコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L041052	クラス名	-
担当教員名	福田 健		
履修上の注意、 履修条件	履修条件はありません。 毎回の講義は、プリントとパワーポイント資料を用いて行います。中間試験(第6回目)、期末試験ではプリントの内容を中心に出题するので、毎回の講義に必ず出席し、講義内容をよく理解することを心掛けてください。(試験は持ち込み不可) 毎回出欠を取り、10分以上の遅刻を「遅刻」、30分以上の遅刻を「欠席」とします。		
教科書	プリントまたはデータを配布		
参考文献及び指定図書	武田史朗 他「テキスト ランドスケープデザインの歴史」、学芸出版社、2010年 風景デザイン研究会 他「風景のとらえ方・つくり方 九州実習編」、共立出版、2008年		
関連科目	都市計画		

○基本情報		
授業の目的	本講義では、ランドスケープに関わる理論、法制度、歴史等に関する知識を体系的に修得することを目的とします。また、現地実習および演習課題を通して調査・分析・プレゼンテーション能力を身に付けることで、創造的かつ実践的にランドスケープを捉える力を育成します。	
授業の概要	本講義では、景観理論や法制度、緑地設計、ランドスケープの歴史といった幅広い領域を学びます。第1～5回目は景観理論や法制度を理解し、第6～8回目は湯布院の景観計画を取り上げ、現地で景観把握モデルや特異点探索を体験します。第9回目以降は、緑地設計に必要な生態学的知識や緑地設計業務の流れを学ぶほか、海外と日本のランドスケープ史を通じて歴史的な観点を養います。終盤では緑地設計の演習課題に取り組み、図面表現やプレゼンテーションを行うことで、知識を統合し実務に活かせるデザイン力を培います。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	身の回りの景観やランドスケープデザインに対して興味や問題意識を持ち、主体的に情報を収集できる。	10点	10点	
【知識・理解】	景観に関する理論や法制度、ランドスケープの歴史について体系的に理解している。	50点		
【技能・表現・コミュニケーション】	現地実習、演習で学び得た内容を効果的にプレゼンテーションできる。		10点	5点
【思考・判断・創造】	得た知識を将来計画へ結び付け、創造的にランドスケープを構想することができる。	10点	5点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
成績は100点を、概ね以下の割合で評価します。 ・中間試験:30% ・期末試験:40% ・課題提出・発表:30%	
試験や課題の結果に対するフィードバックは、講義中またはクラスルーム上で行います。 試験結果については平均点や得点分布の開示を行います。	

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ランドスケープ（Landscape） 福田 健	授業コード L041052
学修内容			
1. オリエンテーション 講義の内容、スケジュール、成績評価について説明します。また、代表的なランドスケープの事例を紹介し、解説します。			
予習	シラバスに目を通しておく。		約2時間
復習	配付された資料およびノートを読み返し、講義内容の復習を行う。		約2時間
2. 景観把握モデル 景観把握モデルや、眺望・隠れ場理論といった景観を理解するための基本的枠組みについて解説します。			
予習	次週の講義テーマを確認し、分からない用語等について事前に調べておく。		約2時間
復習	配付された資料およびノートを読み返し、講義内容の復習を行う。		約2時間
3. 景観と視覚 先行研究を紹介しながら、視野、仰角・俯角、囲みの感覚(D/H比)といった、景観に対する視覚に関連した指標について解説します。			
予習	次週の講義テーマを確認し、分からない用語等について事前に調べておく。		約2時間
復習	配付された資料およびノートを読み返し、講義内容の復習を行う。		約2時間
4. 景観と法制度 景観緑三法など、景観に関する法制度の概要を学び、法制度が景観の形成に果たす役割を理解します。			
予習	次週の講義テーマを確認し、分からない用語等について事前に調べておく。		約2時間
復習	配付された資料およびノートを読み返し、講義内容の復習を行う。		約2時間
5. 景観と地域づくり 文化財保護法について学びます。中でも景観の形成に関わる、伝統的建造物群保存地区および文化的景観について解説します。			
予習	次週の講義テーマを確認し、分からない用語等について事前に調べておく。		約2時間
復習	配付された資料およびノートを読み返し、講義内容の復習を行う。		約2時間
6. 湯布院の景観計画①:事前学習 第7回目を行う現地実習へ向けて、湯布院の景観計画について説明します。また、現地で実施する特異点探索の準備を行います。 第1～5回目の講義内容を範囲とした中間試験を行います。			
予習	課外授業で行く場所や特異点について、GoogleEarth等を用いて立体的な位置関係を確認しておく。		約2時間
復習	撮影した写真や収集した資料等を基に、プレゼンテーション用のパワーポイントデータを作成する。		約2時間
7. 湯布院の景観計画②:現地実習 湯布院にて現地実習を行います。現地にて景観把握モデルや特異点探索を体験し、次週までに体験をまとめたパワーポイントを作成します。			
予習	課外授業で行く場所や特異点について、GoogleEarth等を用いて立体的な位置関係を確認しておく。		約2時間
復習	撮影した写真や収集した資料等を基に、プレゼンテーション用のパワーポイントデータを作成する。		約2時間
8. 湯布院の景観計画③:振り返り 現地実習で撮影した写真や、収集した資料等を基に、パワーポイントを用いたプレゼンテーション行います。			
予習	パワーポイントデータを作成し、提出する。		約2時間
復習	発表で指摘された点について修正した上で、パワーポイントデータを再度提出する。		約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	ランドスケープ（Landscape） 福田 健	授業コード	L041052
学修内容				
9. 既存の自然のなりたち 自然生態学的観点から、緑地設計における樹種の選定や遷移の考え方について学びます。				
予習	次週の講義テーマを確認し、分からない用語等について事前に調べておく。			約2時間
復習	配付された資料およびノートを読み返し、講義内容の復習を行う。			約2時間
10. 緑地設計の基礎 緑地設計業務の流れ（調査・計画、設計、施工、管理・維持）について学び、緑地設計の基礎を理解します。				
予習	次週の講義テーマを確認し、分からない用語等について事前に調べておく。			約2時間
復習	配付された資料およびノートを読み返し、講義内容の復習を行う。			約2時間
11. 世界の庭園様式 ヨーロッパにおける、古代から近世の庭園様式について学び、通史および様式関の関係性について理解します。				
予習	次週の講義テーマを確認し、分からない用語等について事前に調べておく。			約2時間
復習	配付された資料およびノートを読み返し、講義内容の復習を行う。			約2時間
12. 日本庭園の史的展開 古代から近世にかけての日本庭園の史的展開について学び、各時代の庭園の空間構成や思想的背景を理解します。				
予習	次週の講義テーマを確認し、分からない用語等について事前に調べておく。			約2時間
復習	配付された資料およびノートを読み返し、講義内容の復習を行う。			約2時間
13. 公園緑地の歴史 イギリスにおける公園の発生から、アメリカにおける公園の成長、近現代の公園まで、実態と課題について学びます。				
予習	次週の講義テーマを確認し、分からない用語等について事前に調べておく。			約2時間
復習	配付された資料およびノートを読み返し、講義内容の復習を行う。			約2時間
14. 公園緑地のマネジメント これからの時代の公園緑地を考えるため、公園緑地の維持管理業務、市民参加・協働、パークマネジメントの実践について学びます。				
予習	次週の講義テーマを確認し、分からない用語等について事前に調べておく。			約2時間
復習	配付された資料およびノートを読み返し、講義内容の復習を行う。			約2時間
15. 緑地設計の実践 緑地設計の演習課題に取り組みます。これまで得た知識を統合し、図面表現やプレゼンテーションを行います。				
予習	次週の講義テーマを確認し、分からない用語等について事前に調べておく。			約2時間
復習	配付された資料およびノートを読み返し、講義内容の復習を行う。			約2時間
16. 期末試験 第9～14回目以降の講義内容を範囲とした期末試験を行います。				
予習				
復習				